

※利用者様は部品の交換は行わず、部品の購入・交換については製品をお求めになった販売店にご相談ください。

歩行車 リトルターンL/H リトルターンツール103タイプ 部品交換マニュアル



この部品交換マニュアルは必ずお読みいただき、大切に保管してください

この部品交換マニュアルを必ずよくお読みいただき、十分ご理解の上、マニュアルに沿って作業を進めてください。

なお、誤った交換などによるトラブルなどについては弊社は一切保証いたしかねます。

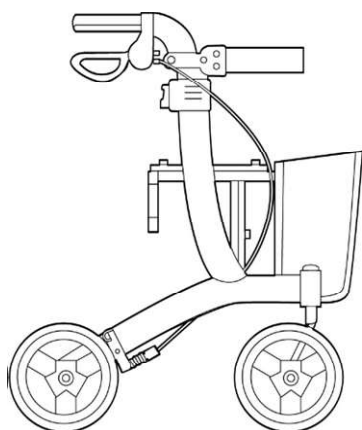
※ 部品交換後は該当部の確認をメンテナンスガイドに従って必ず行ってください。

必要工具

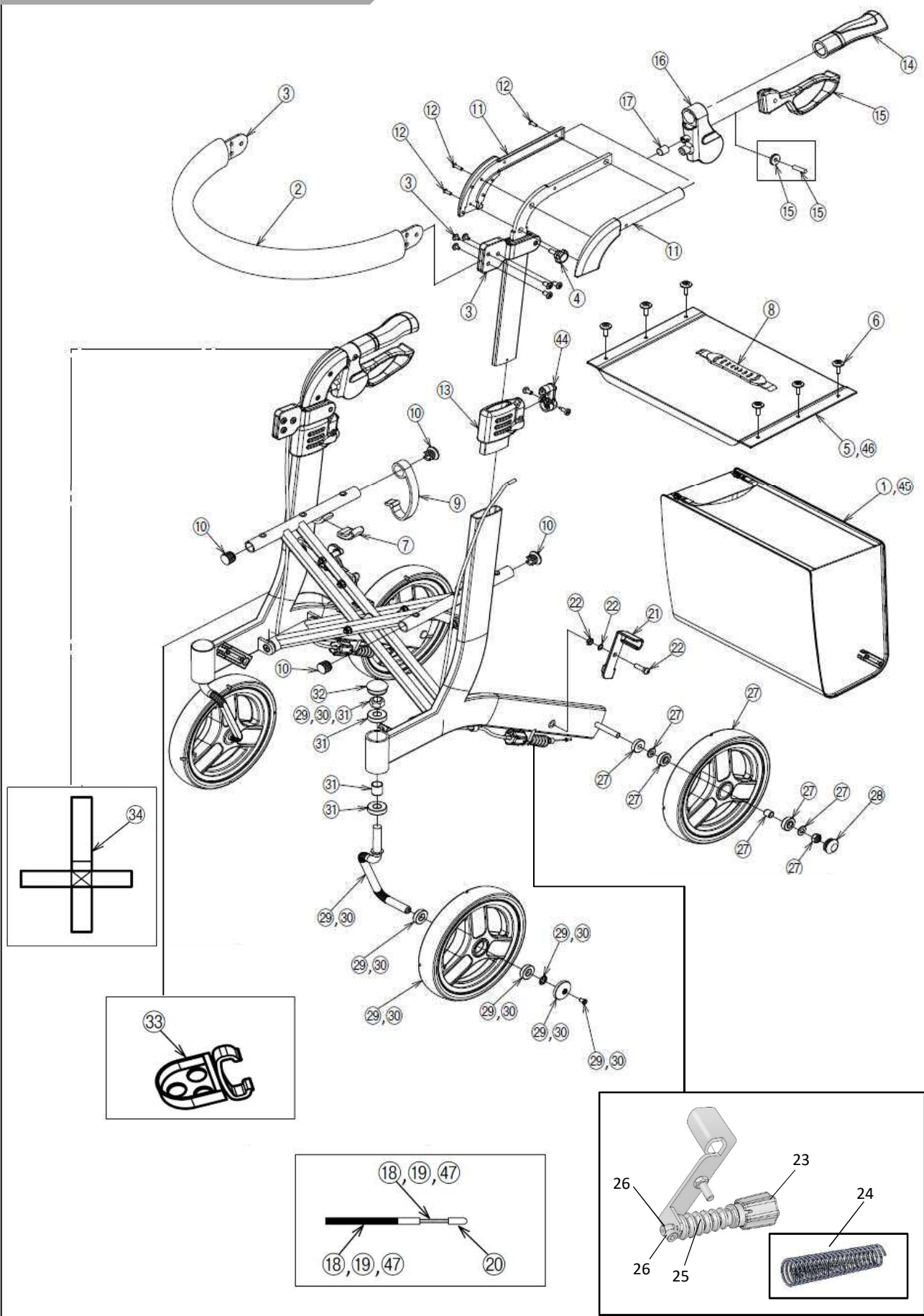
六角レンチ	:	2mm 3mm 4mm×2本 5mm
ソケットレンチ	:	13mm 19mm
スパナ	:	10mm
プラスドライバー	:	2番
マイナスドライバー	:	
ラジオペンチ	:	
ワイヤーカシメ工具	:	

もくじ

部品リスト	1~2
①各部の交換方法	3~17
1. バッグの交換方法	… 3
2. 姿勢保持ベルトの交換方法	… 4
3. 座面の交換方法	… 5~6
4. ハンドル部・ブレーキ部の交換方法	… 7~14
5. 後輪の交換方法	… 15
6. 前輪の交換方法	… 16
7. 杖ホルダーの交換方法	… 17
8. 杖固定ベルトの交換方法	… 17
②フレームの補修方法	18
③交換後の点検	18
④ブレーキの調整	19
⑤シールの貼付位置	19
注意事項	20



部品リスト



部品リスト

No.	部品名	製品コード	価格(税抜き)	備考
1	バッグセット(バッグ・スライド金具)(H・L用)	591952	5,500円	
2	姿勢保持ベルトカバー	591953	2,200円	
3	姿勢保持ベルトセット(ベルト・ベルト固定ナット・基部)	591954	3,650円	
4	姿勢保持ベルト固定ノブボルト×2	591955	2,900円	
5	座面	591956	4,150円	
6	座面固定ボルト×6	591957	1,600円	
7	座面受けカバー	591958	2,900円	
8	折りたたみベルト	591999	2,100円	
9	折りたたみ保持フック	591960	1,600円	
10	シートパイプエンドキャップ(前×2、後×2)	591961	1,200円	
11	ハンドル基部(左右セット)	591962	3,050円	
12	ハンドル基部固定ネジセット(長×2、短×4)	591963	1,400円	
13	ハンドルポスト受けセット(高さ調節スイッチ機構一式含む)	591964	2,500円	
14	ハンドルグリップ(反射板含む)	591965	1,900円	
15	ブレーキレバーセット(ブレーキレバー・リール・固定ピン)	591966	2,100円	
16	ブレーキ基部(左右セット)	591967	3,050円	
17	ブレーキ基部キャップ×2	591968	1,650円	
18	ブレーキワイヤーセット(ワイヤー・ワイヤーチューブ)(H)	591969	1,800円	
19	ブレーキワイヤーセット(ワイヤー・ワイヤーチューブ)(L)	591970	1,800円	
20	ブレーキワイヤー端部キャップ	591971	1,600円	
21	ブレーキ板(左右セット)	592210	2,000円	
22	ブレーキ板固定ボルトセット	591973	1,200円	
23	ブレーキ調節ネジ(内蔵パネ含む)	591974	1,200円	
24	ブレーキパネ	591975	1,200円	
25	ブレーキパネカバー	591976	1,200円	
26	ブレーキ固定ソケットセット(ソケット・ソケットネジ)	591977	1,600円	
27	後輪セット(ホイール・タイヤ・スペーサー・ベアリング×2・ベアリング間スペーサー・後輪固定ナット)	591978	2,200円	
28	後輪キャップ	591979	1,200円	
29	前輪セット(右)(ホイール・タイヤ・ベアリング×2・前輪フォーク・前輪カシメワッシャー・前輪キャップ・前輪キャップ固定ネジ・前輪フォーク固定ナット)	591980	3,200円	
30	前輪セット(左)(ホイール・タイヤ・ベアリング×2・前輪フォーク・前輪カシメワッシャー・前輪キャップ・前輪キャップ固定ネジ・前輪フォーク固定ナット)	591981	3,200円	
31	前輪フォークベアリングセット(ベアリング×2・前輪フォーク固定ナット・カラー)	591982	1,700円	
32	前輪フォークキャップ	591983	1,200円	
33	杖ホルダー	591984	1,600円	
34	杖固定ベルト	591985	1,200円	
35	ブレーキ・駐車ロックシール左右10枚入り	592000	1,400円	※
36	ブレーキ調節表示シール10枚入り	592001	1,400円	※
37	指はさみ注意シール10枚入り	592002	1,400円	※
38	(LT・ST)フレーム前方保護シール10枚入り	592003	1,500円	※
40	高さ調節解除シール左右10枚入り	592005	1,500円	※
41	ブレーキ指はさみ注意シール左右10枚入り	592006	1,400円	※
42	補修用スプレー	592270	10,000円	※
43	補修用ペイント(タッチペン)	592271	4,500円	※
44	高さ調節ボタンセット10個	592272	8,000円	
45	バッグセット(バッグ・スライド金具)(ツール用)	592305	6,000円	
46	座面(ツール用)	592308	4,600円	
47	ブレーキワイヤーセット(ワイヤー・ワイヤーチューブ)(ツール用)	592309	2,000円	
54	前輪左右6台分セット	592313	30,720円	※
55	後輪12個セット	592311	21,120円	※
56	補修用スプレーR	592278		※
57	補修用ペイントR(タッチペン)	592279		※

※ツール103タイプ専用の部品がありますので、部品交換の際はご注意ください。

※「備考」欄に※印がある部品は図示していません。

※価格は予告なく変更する場合があります。最新の価格につきましては、弊社総合カタログをご参照ください。

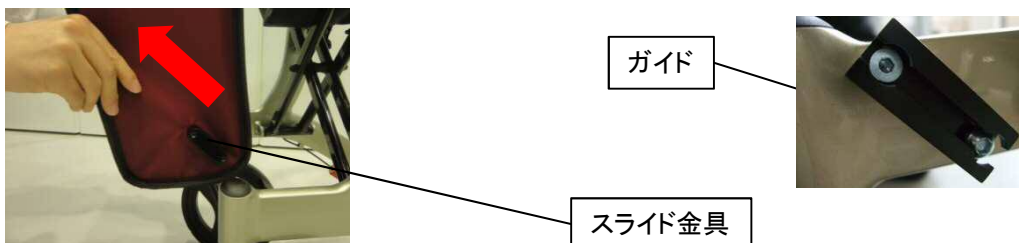
①各部の交換方法

1. バッグの交換方法

1) 折りたたみベルトを上方向に引っ張り、本体を軽く閉じます。



2) バッグを斜め上方に向けてスライドさせるように引っ張り上げます。



3) 新しいバッグの側面にあるスライド金具を本体前部のガイドに差し込みます。

交換部品: 1. バッグセット(バッグ・スライド金具) (H・L)
45. バッグセット(バッグ・スライド金具) (トール用)

①各部の交換方法

2. 姿勢保持ベルトの交換方法

1) 左右の姿勢保持ベルト固定ノブボルトを外します。

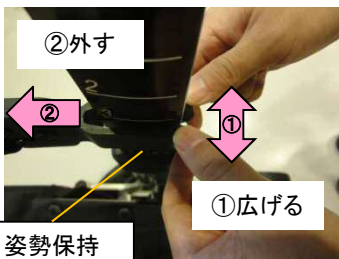


姿勢保持ベルト
固定ノブボルト



交換部品: 4. 姿勢保持ベルト固定ノブボルト

2) 姿勢保持ベルト基部のスリットを広げ、ハンドルポストから姿勢保持ベルトを外します。



姿勢保持
ベルト基部

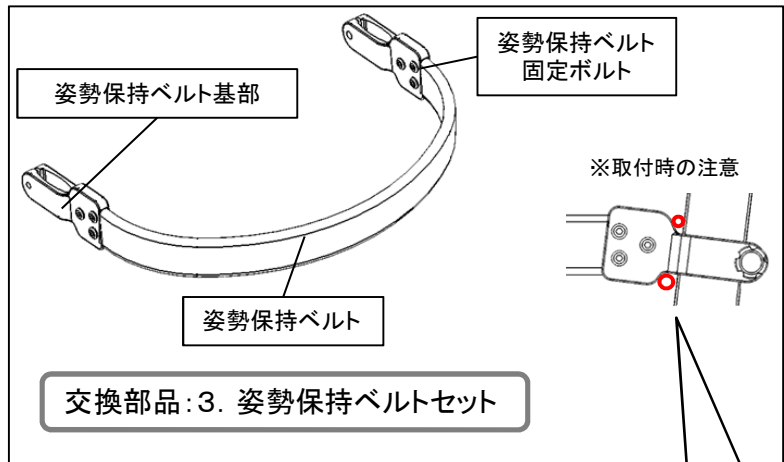


- スリットに指を挟まないよう
注意してください。
- ハンドルポストを傷つけないよう
注意してください。

3) 姿勢保持ベルト基部のボルトを4mmの六角レンチ2本を使って片側のみ外し、外した側から姿勢保持ベルトカバーを引き抜きます。



六角レンチ
4mm × 2本



交換部品: 3. 姿勢保持ベルトセット

4) 姿勢保持ベルトカバーを姿勢保持ベルトに差し込みます。

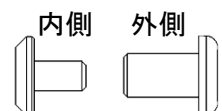


交換部品: 2. 姿勢保持ベルトカバー

くぼみ大きい方
が下です

5) 逆の手順で姿勢保持ベルトを取り付けます。

- 姿勢保持ベルト固定ボルトの締め付けトルクは2N・m(20kgf・cm)です。
- 姿勢保持ベルト固定ボルトは雄ネジが内側です。(右図参照)

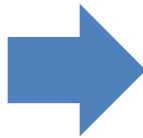
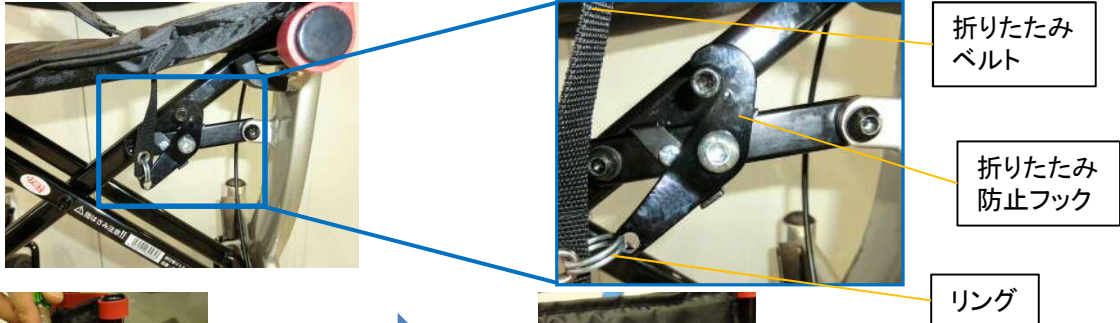


①各部の交換方法

3. 座面の交換方法

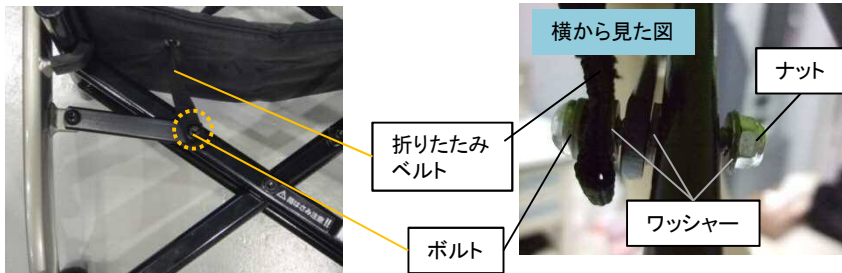
- 1) リングを折りたたみ防止フックから外し、
 続いて折りたたみベルトからリングを外します。
 ※リングを折りたたみベルトから外すだけでも構いません。

マイナスドライバー
ラジオペンチ



- 2) 折りたたみベルトを固定しているボルトを外します。

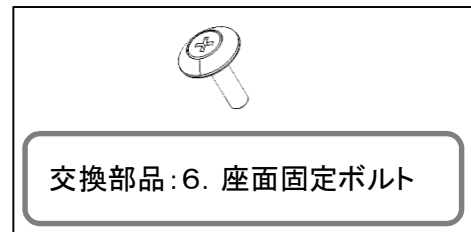
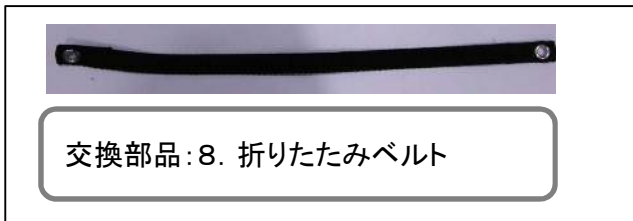
六角レンチ5mm
スパナ10mm



☞ ボルトを締める時は、締めつけ過ぎて折りたたみ動作に支障がでないよう、また、締め付けが甘くボルトが外れたりしないよう注意してください。

- 3) 座面から折りたたみベルトを引き抜きます。

☞ ボルトを再度取り付ける時は、ワッシャーの位置に注意してください。



- 4) 座面固定ボルトを6ヶ所外し、座面を外します。



- 5) 逆の手順で新しい座面を取り付けます。

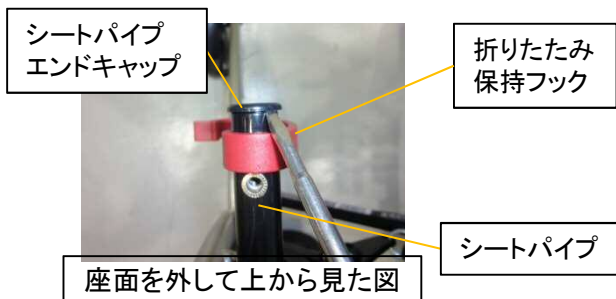
☞ 座面を取り付ける時は座面の前後の向きに注意してください。

①各部の交換方法

3. 座面の交換方法(その他の座面まわり).....

■折りたたみ保持フックの交換方法

1)シートパイプエンドキャップ(後)を外します。



マイナスドライバー

前 後

※この部分の径がシートパイプに差しこむ部分よりも4mm程度大きいものが後のキャップです。

交換部品:10. シートパイプエンドキャップ
(前×2、後×2)

※交換部品は前後セットになります。

2)折りたたみ保持フックをシートパイプから引き抜きます。

3)新しい折りたたみ保持フックを取り付けて、シートパイプエンドキャップを取り付けます。



👉 シートパイプエンドキャップには前と後の2種類があります。前後の取り付けを間違えないよう注意してください。(上図参照)

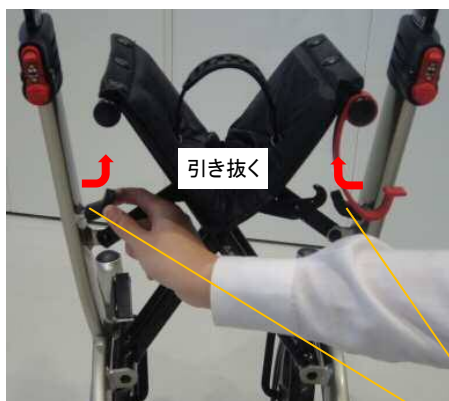
👉 折りたたみ保持フックの取り付け向きに注意してください

交換部品:9. 折りたたみ保持フック

■座面受けカバーの交換方法

1)本体を軽く折りたたみます。

2)座面受けカバーを引き抜き、交換します。



👉 座面受けカバーを取り付けないと、ガタつきが生じます。

交換部品:7. 座面受けカバー

座面受けカバー

①各部の交換方法

4. ハンドル部、ブレーキ部の交換方法

A. ブレーキワイヤー、ブレーキワイヤーチューブの交換方法

1) ブレーキワイヤー端部キャップを外し、ブレーキ固定ソケットのボルトを緩めてブレーキワイヤーを引き抜きます。

六角レンチ4mm
ラジオペンチ



①ラジオペンチで
ブレーキワイヤー端部
キャップを外す。

ブレーキワイヤー
端部キャップ

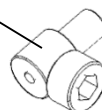


②六角レンチで
ブレーキ固定
ソケットを外す。

ブレーキ
固定ソケット

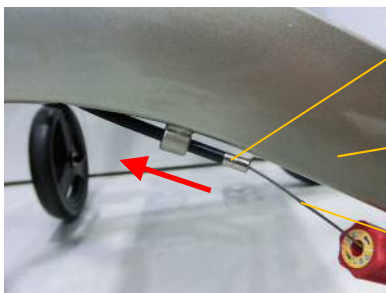


交換部品:20. ブレーキワイヤー
端部キャップ



交換部品:26. ブレーキ固定ソケットセット

2) フレームからブレーキワイヤー、ブレーキワイヤーチューブを引き抜きます。



ブレーキワイヤー
チューブ

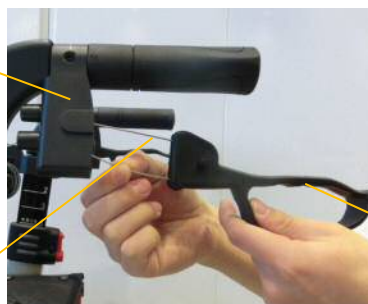
フレーム

ブレーキワイヤー



3) ブレーキレバーをブレーキ基部から引き抜き、ブレーキレバーからブレーキワイヤーを引き抜きます。

ブレーキ基部



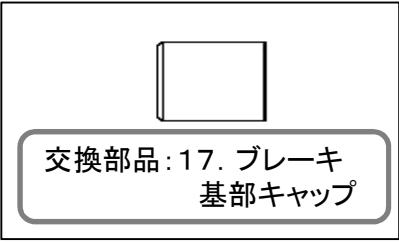
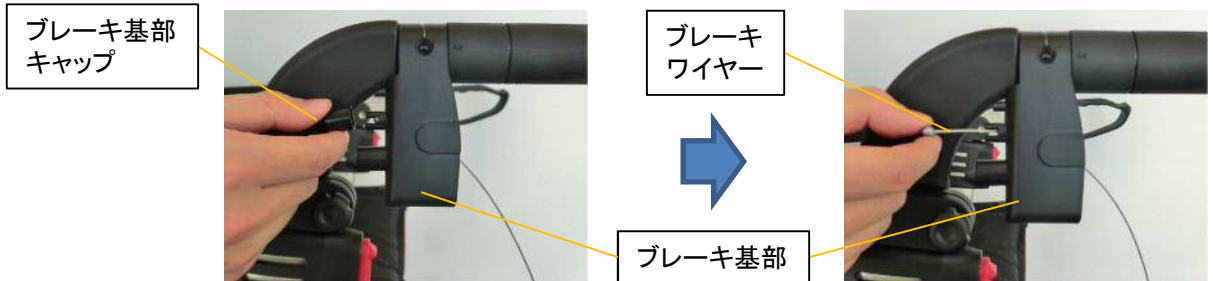
ブレーキワイヤー

ブレーキレバー

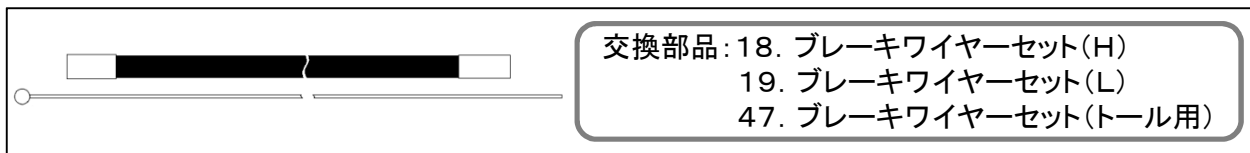
①各部の交換方法

4. ハンドル部、ブレーキ部の交換方法(つづき)

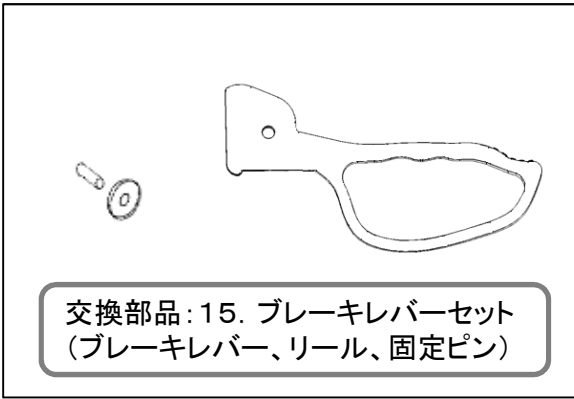
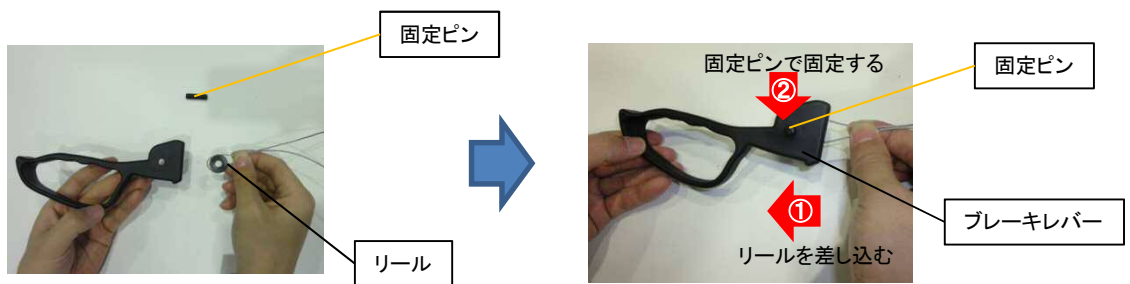
4) ブレーキ基部キャップをブレーキ基部から外し、ブレーキワイヤーをブレーキ基部から引き抜きます。



5) 新しいブレーキワイヤーをブレーキ基部の穴(上側)に通し、ブレーキ基部キャップをブレーキ基部に取り付けます。(4. A. 4の逆手順)



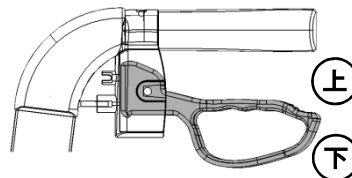
6) ブレーキレバーから固定ピンを抜き、リールをはずします。ブレーキワイヤーを外したリールに沿わせ、ブレーキレバーに差し込み、固定ピンでブレーキレバーに固定します。



①各部の交換方法

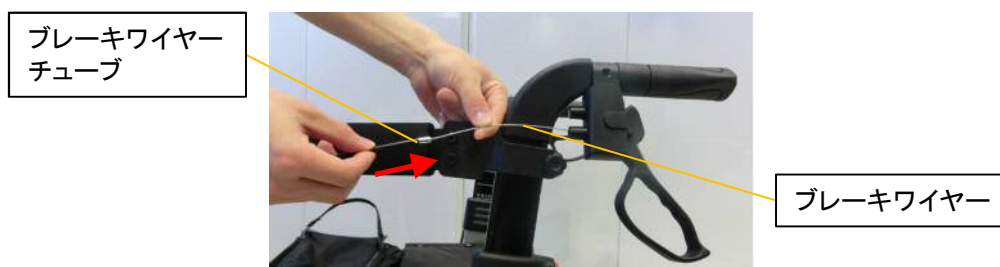
4. ハンドル部、ブレーキ部の交換方法(つづき)

7) ブレーキワイヤーをブレーキ基部の穴(下側)に通します。(4. A. 3の逆手順)



- ☞ ブレーキレバーの向きに注意してください。
- ☞ ブレーキワイヤーが交差したり、リールに噛んだりしないよう注意してください。

8) ブレーキワイヤーを新しいブレーキワイヤーチューブに通します。



9) ブレーキワイヤーチューブをフレームに通します。

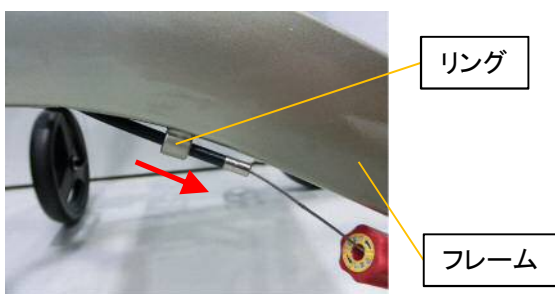
① 姿勢保持ベルト固定ノブボルトの上側



② クロスバー下部とフレームの間



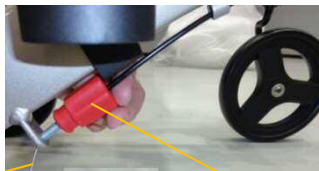
③ フレーム下部のリング



①各部の交換方法

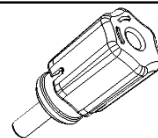
4. ハンドル部、ブレーキ部の交換方法(つづき)

10)ブレーキワイヤーをブレーキ調節ネジに通します。



ブレーキワイヤー

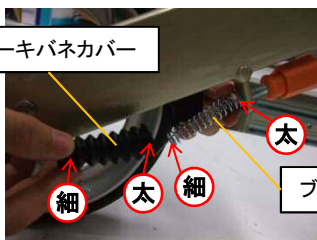
ブレーキ調節ネジ



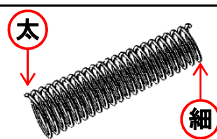
交換部品:23. ブレーキ調節ネジ

11)ブレーキワイヤーをブレーキバネに通し、ブレーキバネカバーを取り付けます。

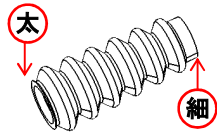
ブレーキバネカバー



ブレーキバネ



交換部品:24. ブレーキバネ



交換部品:25. ブレーキバネカバー

☞ワイヤーが通りにくい時は、ラジオペンチでワイヤーをはさみ、引っ張ってください。

12)ブレーキワイヤーをブレーキ板に通します。

ブレーキ板



☞ワイヤーが通りにくい時は、ラジオペンチでワイヤーをはさみ、引っ張ってください。

13)ブレーキワイヤーをブレーキ固定ソケットに通し、締めつけて固定します。(4. A. 1の逆手順)

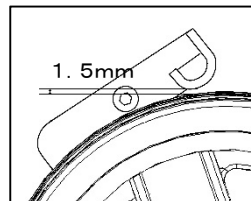
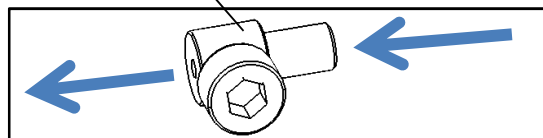
ラジオペンチ
六角レンチ4mm

☞ブレーキ固定ソケットの細い側からワイヤーを通します。

☞ブレーキ板を指で押さえながら、ブレーキワイヤーをペンチなどで引っ張り、ブレーキ板とタイヤの間隔が1.5mmになるようにしてブレーキ固定ソケットを締めつけてください。

☞ブレーキ固定ソケットの締め付けトルクは2N・m(20kgf・cm)です。

ブレーキ固定ソケット



14)ブレーキワイヤー端部キャップを取り付け外れないようにカシメます。

ワイヤーカシメ工具
(ワイヤーカッターなど)



交換部品:20. ブレーキワイヤー端部キャップ

①各部の交換方法

4. ハンドル部、ブレーキ部の交換方法(つづき)

B. ハンドルグリップ、ブレーキ基部、ハンドル基部の交換方法

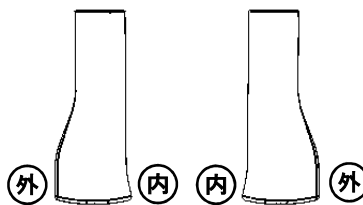
1) ハンドルグリップを引き抜きます。



ハンドルグリップ

☞ ハンドルグリップが抜けにくい時は、ドライヤーなどで数分温めると抜けやすくなります。

交換部品: 14. ハンドルグリップ
(反射板含む)



以下、ブレーキ基部、ハンドル基部を交換する場合

六角レンチ4mm
ラジオペンチ

2) ブレーキワイヤー端部キャップを外し、ブレーキ固定ソケットのボルトを緩めてブレーキワイヤーを引き抜きます。

フレームからブレーキワイヤー、ブレーキワイヤーチューブを引き抜きます。

ブレーキレバーをブレーキ基部から引き抜き、ブレーキレバーからブレーキワイヤーを引き抜きます。

(4. A. 1~3と同じ作業)

3) ブレーキ基部のネジを外し、ブレーキ基部を取り外します。

プラスドライバー
2番



ブレーキ基部

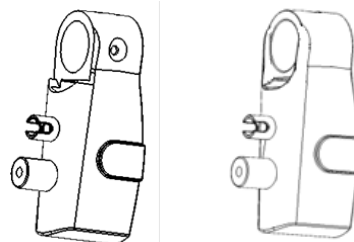


ブレーキワイヤーチューブ

ブレーキワイヤー



形状変更済み



交換部品: 16. ブレーキ基部
(左右セット)

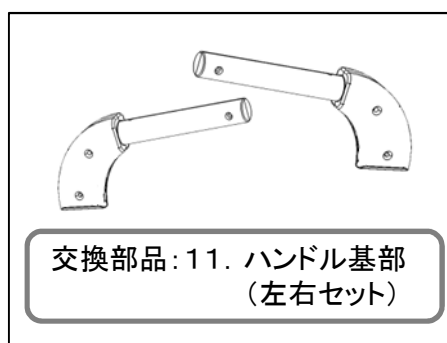
①各部の交換方法

4. ハンドル部、ブレーキ部の交換方法(つづき)

4) ハンドル基部にある左右各3ヶ所のネジ(①~③)を外し、ハンドル基部を外します。



プラスドライバー
2番



5) ハンドル基部をハンドルポストに取り付け、ハンドル基部固定ネジで固定します。

プラスドライバー
2番



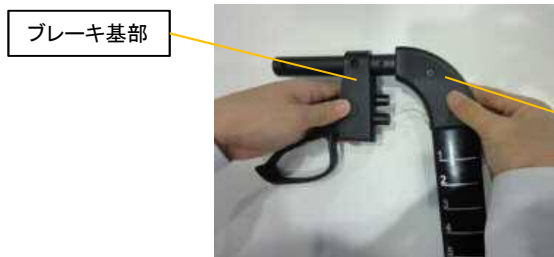
☞ ハンドル基部の内側・外側の見分けかた
●内側 → 貫通孔が開いています
●外側 → 内部に雌ネジが埋まっています

Ⓛ …ハンドル基部固定ネジ(長)

Ⓢ …ハンドル基部固定ネジ(短)

6) ブレーキ基部をハンドル基部に差し込み、ネジ固定します。

プラスドライバー
2番



☞ ブレーキ基部はネジ穴が内側となるように固定してください。

7) ブレーキワイヤー、ブレーキワイヤーチューブを新しいものに交換します。

(4. A. 7~14と同じ作業)

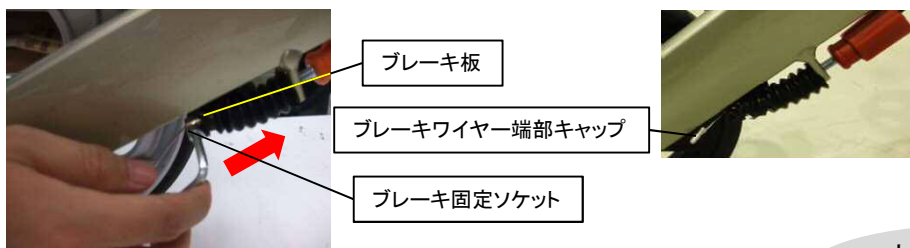
①各部の交換方法

4. ハンドル部、ブレーキ部の交換方法(つづき)

C. ブレーキ板の交換方法

- 1) ブレーキワイヤー端部キャップを外し
ブレーキ固定ソケットを緩めて
ブレーキワイヤーをブレーキ固定ソケット、ブレーキ板から引き抜きます。

六角レンチ4mm
ラジオペンチ



六角レンチ4mm
スパナ10mm

- 2) ブレーキ板固定ナットを緩め、ブレーキ板固定ボルトを外してブレーキ板を交換します。




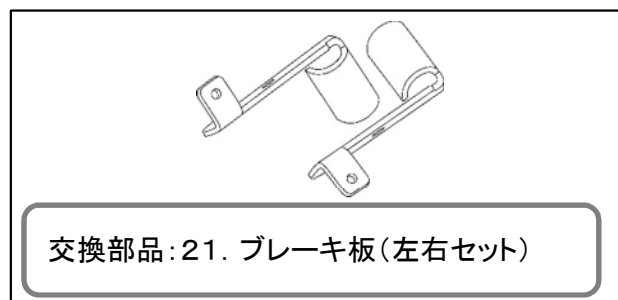
- 3) 上図(左)のようにブレーキ板固定ナットを緩めに取り付けられた状態で本体に取り付けます。
(※後輪との干渉を避けて取り付けるため)

- 4) ブレーキ板固定ボルトを締めつけ、回らなくなったらブレーキ板固定ナットを締めつけて
ブレーキ板が回転可能な範囲内でガタつきをできるだけ小さくします。

- 5) 再度ブレーキ板固定ボルトを締めつけます。

- 6) 1の逆手順でブレーキワイヤーを取り付けます。

 ブレーキ板を指で押さえながら、ブレーキワイヤーをペンチなどで引っ張り、ブレーキ板と
タイヤの間隔が1.5mmになるようにブレーキ固定ソケットを締めつけてください。



①各部の交換方法

4. ハンドル部、ブレーキ部の交換方法(つづき)

D. ハンドルポスト受けの交換方法

- 1) ハンドル高さ調節ボタンの固定ネジを外して
ハンドル高さ調節ボタンを外します。

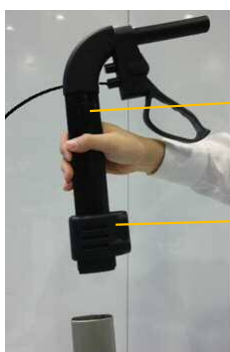


六角レンチ4mm
× 2本



👉 固定ネジの締め付けトルクは
2N・m(20kgf・cm)です。

- 2) ハンドルポスト、ハンドルポスト受けをフレームから引き抜きます。



ハンドルポスト

ハンドルポスト受け

- 3) ハンドルポストキャップのイモネジを両側とも外し
ハンドルポストキャップを取り外します。

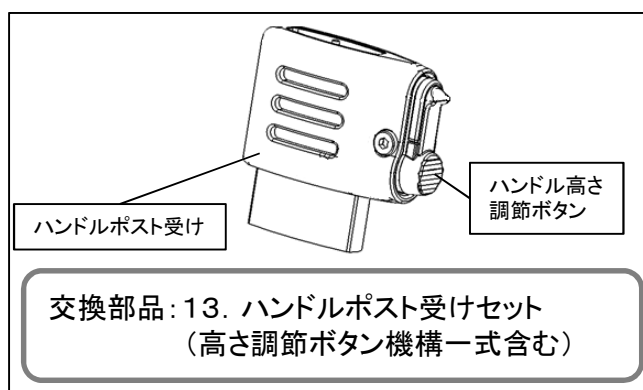


ハンドルポスト受け

ハンドルポスト

ハンドルポストキャップ

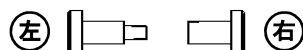
六角レンチ2mm



- 4) ハンドルポストから
ハンドルポスト受けを引き抜きます。

- 5) 逆の手順でハンドルポストをフレームに取り付けます。

- 👉 ハンドル高さ調節ボタンの固定ピンがしっかりとハンドルポストに挿入されていることを確認してください。
👉 ハンドル高さ調節ボタンの固定ネジは雄ネジが後ろから見た時の左側です。(下図参照)



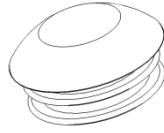
①各部の交換方法

5. 後輪の交換方法

1) 後輪キャップを外します。



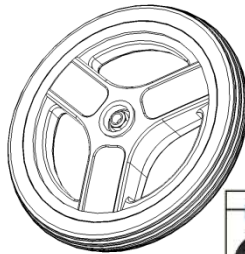
マイナスドライバー



交換部品: 28. 後輪キャップ

2) 後輪固定ナットを緩め、後輪を取り外して交換し
後輪キャップを取り付けます。

ソケットレンチ13
六角レンチ5mm



交換部品: 27. 後輪セット

○ 一体組付状態

ホイール・タイヤ
ベアリング × 2
ベアリング間スペーサー

○ 同梱

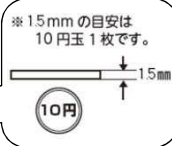
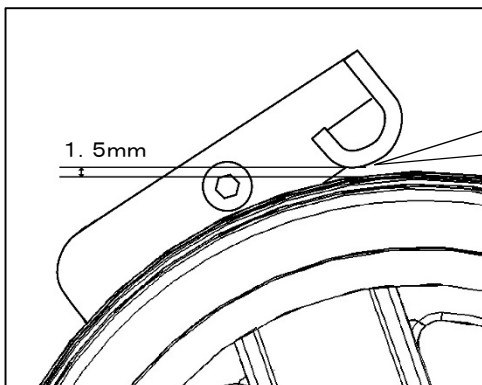
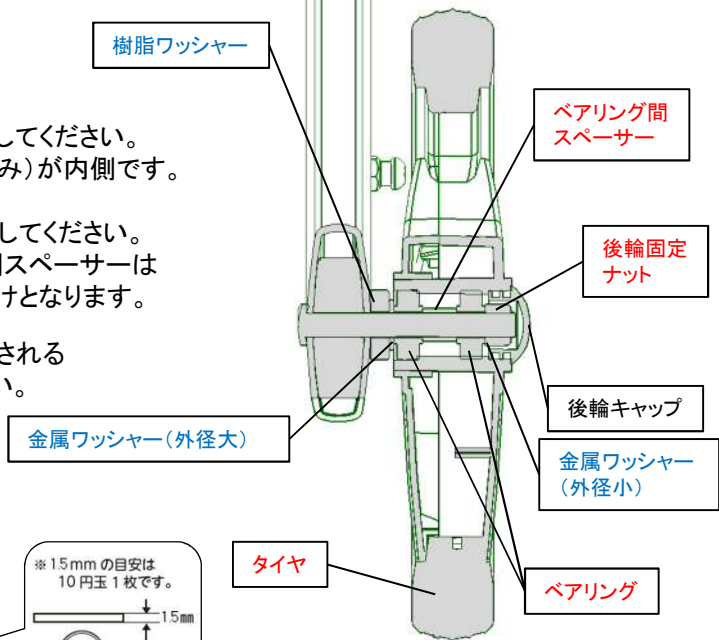
金属ワッシャー (外径大&小)
樹脂ワッシャー
後輪固定ナット

👉 後輪を取り付ける時は後輪の向きに注意してください。
スリップサイン(タイヤ円周上の小さなくぼみ)が内側です。

👉 後輪を取り付ける時は右図の順番に注意してください。
交換部品のベアリングおよびベアリング間スペーサーは
ホイールに組み付けられた状態でのお届けとなります。

👉 後輪を取り付ける時は、後輪セットに付属される
新しい後輪固定ナットを必ずご利用ください。

👉 後輪固定ナットの締め付けトルクは
7N・m(70kgf・cm)です。



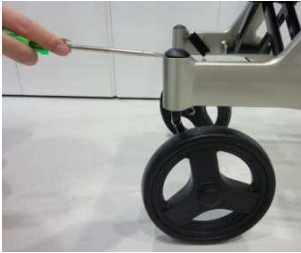
👉 後輪交換後にブレーキ板とタイヤの隙間が
1.5mmになるようにブレーキ調節ネジで
調節してください。

1.5mmの目安 = 10円玉の厚み

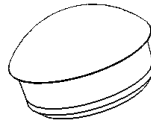
①各部の交換方法

6. 前輪の交換方法

1) 前輪フォークキャップを外します。



マイナスドライバー



交換部品: 32. 前輪フォークキャップ

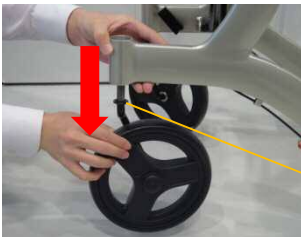
2) 前輪フォーク固定ナットを緩め、前輪フォークから取り外します。



ソケットレンチ19mm

☞ 前輪フォーク固定ナットを締める時は、前輪が共回りしないよう手で押さえてください。

3) 前輪フォークをフレームから引き抜きます。



☞ 前輪フォークにベアリングがついた状態で抜けた場合はベアリングをフレームに戻してください。

前輪フォーク

4) 前輪セットを取り付け前輪フォーク固定ナットを締め、前輪フォークキャップをはめ込みます。

☞ 前輪を取り付ける時は、前輪セットに付属される新しい前輪フォーク固定ナットを必ずご利用ください。

☞ ベアリングを交換する時は、前輪フォークベアリングセットに付属される新しい前輪フォーク固定ナットを必ずご利用ください。

☞ 前輪フォーク固定ナットの締め付けトルクは7N・m(70kgf・cm)です。



交換部品: 29 前輪セット(右)

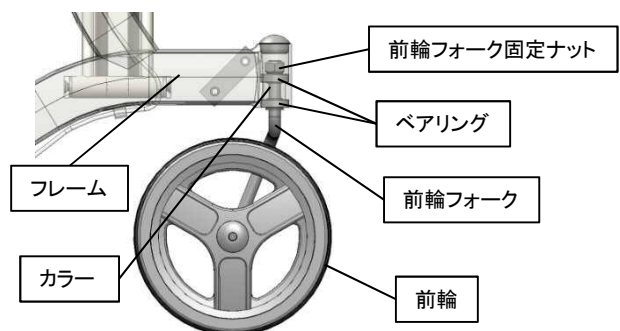
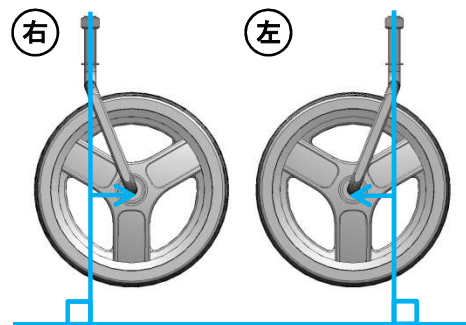
交換部品: 30 前輪セット(左)

(ホイール・タイヤ・ベアリング×2・前輪フォーク・前輪カシメワッシャー・前輪キャップ・前輪キャップ固定ネジ・前輪フォーク固定ナット)



交換部品: 31. 前輪フォークベアリングセット
(ベアリング×2、カラー、前輪フォーク固定ナット)

前輪左右の見分け方



①各部の交換方法

7. 杖ホルダーの交換方法

1) 杖ホルダー固定部の下側から、スリット部を開くようにして取り外し新しいものと交換します。



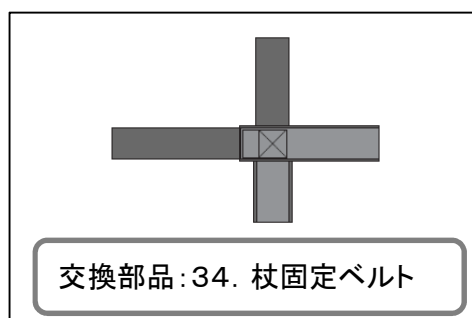
2) 杖ホルダーの取付位置を左右を入れ替える場合はボルトを緩め、杖ホルダーを回転させて、角度を合わせた上で、取り付けます。

六角レンチ3mm




8. 杖固定ベルトの交換方法


1) 杖固定ベルトをフレームから取り外し新しいものと交換します。





②フレームの補修方法

- 1) 塗装面のゴミ、油分、サビなどをよく落とします。
- 2) 塗料が傷以外につかないように、マスキングを施します。
- 3) タッチペンまたはスプレーで塗装します。

 塗料の一部が沈殿していることがあります。その場合はタッチペンの容器を振って塗料をよく混ぜ合わせてからご使用ください。

 深い傷には数回重ね塗りをしてください。重ね塗りは塗料が乾いてから行ってください。

 塗装方法の違いや、補修面の変退色により、色が正確に合わない場合があります。

 火気には十分に注意してください。

補修部品 : 42. 補修用スプレー
43. 補修用ペイント(タッチペン)
56. 補修用スプレーR
57. 補修用ペイントR(タッチペン)

③交換後の点検

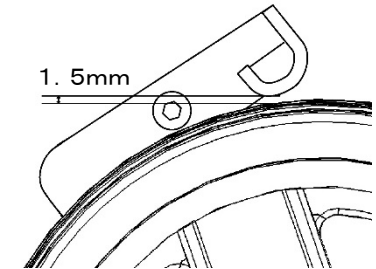
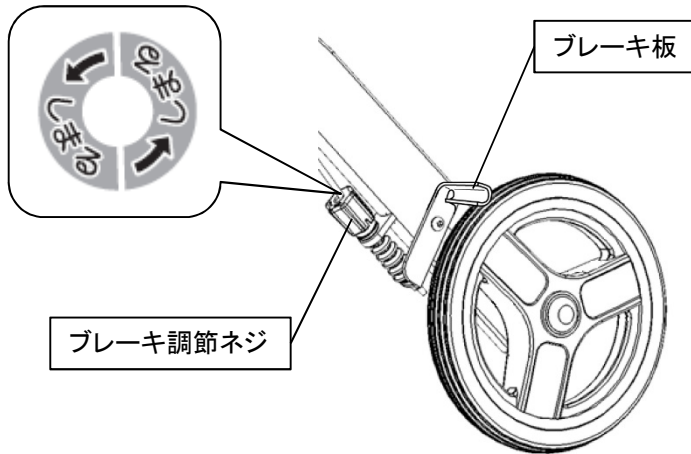
- ブレーキレバーを引いて、ブレーキ板が左右両輪に均等に、確実に当たっていることを確認してください。
- ブレーキレバーがスムーズに動き、ブレーキが効くまで十分に握れることを確認してください。
- ブレーキおよび駐車ロックが確実に作動することを確認してください。
- 車体を押した時に、違和感なく直進することを確認してください。
- 折りたたみ動作がスムーズに行えることを確認してください。
- 各部のネジ、ボルト、ナットが緩みなく締まっていることを確認してください。

 点検方法の詳細などはメンテナンスガイドを参照してください。

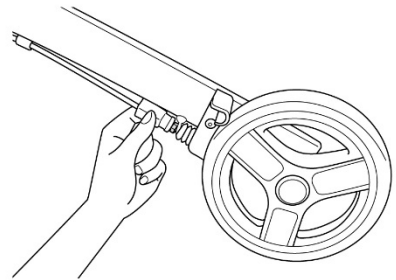
④ブレーキの調整方法

ブレーキがききにくくなった場合、ブレーキ調節ネジでブレーキ板の位置を調節してください。

1. ブレーキ調節ネジのシールの表記に従って、矢印の方向にブレーキ調節ネジを回します。



2. ブレーキ板とタイヤの隙間が1.5mmになるように調節してください。隙間が小さくなりすぎてしまった場合は、ブレーキ調節ネジを逆方向に回して調節してください。



⑤シールの貼付位置



交換部品:35
ブレーキ・駐車ロック
シール

交換部品:36
ブレーキ調節表示
シール

交換部品:37
指はさみ注意シール

交換部品:38
(LT・ST)フレーム前方
保護シール

交換部品:40
高さ調節解除シール

交換部品:41
ブレーキ指はさみ注意
シール



注意事項

👉 保管について

- 戸外に保管して風雨や直射日光にさらしたままにしないこと
- 火気に近づけないこと、また高温になる場所に保管しないこと
- 荷物を重ねたり、圧力が加わる状態で保管しないこと
- 取扱説明書は本体と一緒に保管すること

👉 お手入れについて

- 車輪に付着した泥や汚れなどはそのままにせず、よく絞った布などで必ず落とすこと
- 次にあげるものではお手入れしないこと
 - ・シンナー
 - ・クレゾール
 - ・塩素系薬剤をかけたの殺菌、消毒
 - ・磨き粉
 - ・塩素系洗剤
 - ・酸、アルカリ性洗剤
 - ・タワシ
 - ・研磨剤入りのスポンジ
 - ・その他製品を傷つけるもの
- オゾンガス、ホルムアルデヒドガスを用いた消毒を行わないこと。
- 注油する場合は、タイヤ、ブレーキ板に油がつかないように注意すること。
タイヤやブレーキ板に付着した油はよく拭き取ってください。

👉 廃棄について

- 廃棄については各自治体の指示にしたがって処分、廃棄すること

●製品の仕様および価格は、予告なく変更する場合があります。

製品に関するご意見・お問い合わせは

お客様相談室

フリーダイヤル ☎0120-86-7735
(受付時間) 祝祭日以外の月～金 9:00～17:00
(12:00～13:00はのぞく)

製造・発売元



アロン化成株式会社

ライフサポート事業部

〒105-0003 東京都港区西新橋2-8-6 住友不動産日比谷ビル8階

URL <http://www.aronkasei.co.jp/>

安寿

検索

22.07 919057-3